



第1回定例会が開催されるに当たりまして、第4回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

書かないワンストップ窓口の拡大について

はじめに、書かないワンストップ窓口の拡大について申し上げます。  
令和7年度は、ワンストップ化する手続きの拡大を目指し、窓口業務支援システムの改修、および本庁舎1階のレイアウトの改修を実施いたしました。

今後におきましても、手続きの拡大と事務の効率化に努めて参ります。

L I N E を活用した市民サービスの拡大について

次に、L I N E を活用した市民サービスの拡大について申し上げます。

令和6年2月のサービス開始以降、各種オンライン申請機能の充実に取り組んで参りましたが、令和7年度につきましては、定額減税補足給付金の申請機能のほか、火葬場の予約機能を新たに追加いたしました。

今後におきましても、ニーズに応じた使いやすいサービスに努めて参ります。

ふるさと納税推進事業について

次に、ふるさと納税推進事業について申し上げます。

本年度の寄附額は、昨年10月の国の制度改正によるポータルサイトのポイント廃止の影響を受け、12月末時点では約20億円、前年同月比86パーセントとなっております。引き続き、全国の皆様からの温かいご支援をいただけるよう、魅力発信に努め、ふるさと納税事業の更なる推進を図って参ります。

また、ふるさと納税事業全般の管理体制の強化・効率化および魅力発信を進めるため、民間のアイデアやノウハウを最大限に活用することを目的として、公募型プロポーザルを実施し、事業者を決定いたしました。新体制は本年4月からスタートし、より効率的かつ魅力的な事業運営に取り組んで参ります。

多文化共生フォー  
ラムについて

次に、多文化共生フォーラムについて申し上げます。

去る2月1日に、恵庭市における多文化共生の未来について考えることを目的に、「地域社会における多文化共生」をテーマにした「多文化共生フォーラム」を開催しました。当日は、市民および関係者約50名が参加し、地域社会における多文化共生の重要性を再認識するとともに、参加者からの意見や提案を伺い、今後の施策に反映させるための貴重な意見交換の場となりました。

柏陽地区複合施設  
整備・管理運営事業  
について

次に、柏陽地区複合施設整備・管理運営事業について申し上げます。

これまで、公募型プロポーザル方式により事業者選定を進めて参りましたが、このたび、優先交渉権者を選定し、1月に基本協定を締結いたしました。また、本事業の設計施工一括契約の締結については、本定例会に議案として提出しております。

市民の広場につい  
て

次に、市民の広場について申し上げます。

多文化共生をテーマとして、1月19日に、市内在住の外国人住民をはじめ、関係企業や町内会長等44名の参加の中、文化や生活習慣の違い等について相互理解を深めるとともに、外国人住民にとっての暮らしの悩みや困りごとを解決するためのアイデアなどについて、ワークショップ形式で話し合いを行いました。今後も引き続き、様々なテーマで市民の広場を開催し市民の声を伺う機会を設けて参ります。

黄金相生跨線橋高  
架下東駐車場の設  
置について

次に、黄金相生跨線橋高架下東駐車場の設置について申し上げます。

昨年12月1日より恵庭駅東口駐車場に隣接する黄金相生跨線橋の高架下東側を市営駐車場として、駐車台数24台の月極駐車場を整備しました。これにより、恵庭駅周辺の市営駐車場の駐車台数は188台から212台に拡充され、利便性の向上が図られたものと考えております。

とりこぼさない支援をうみだす支援者交流会について

次に、「とりこぼさない支援をうみだす支援者交流会」について申し上げます。

重層的支援体制整備事業の一環として、2月17日に北海道文教大学において支援者交流会を開催いたしました。

交流会を運営するコアメンバーや市内支援機関等の関係者の皆さんが参加し、「とりこぼさない支援を考えるプラットフォーム」の構築に向け、多様な視点からの意見交換が行われました。

今後も、本事業の実施を通じて、本市における地域共生社会の実現に資する取組を展開して参ります。

スポーツ振興について

次に、スポーツ振興について申し上げます。

2月6日に開幕した「ミラノ・コルティナ2026冬期オリンピック」に、女子アイスホッケー日本代表として北海道文教大学3年の伊藤<sup>いとうまこと</sup>麻琴さんが出場し、活躍しております。大会出発前には、大学内で行われた壮行会でも意気込みを伺っていますが、本番でも華々しいプレーを展開され、市民に大きな感動と希望を届けてくれました。

本市では、今後も運動やスポーツを「する」、「観る」、「応援する」など、多様な活動を通じた活力あるまちづくりを通じて、伊藤さんのように恵庭から世界で活躍される人を応援して参ります。

第38回恵庭クロスカントリースキー大会について

次に、第38回恵庭クロスカントリースキー大会について申し上げます。

昨年は雪不足により中止となりましたが、本年は2月15日に恵庭市畜産共進会場で開催できました。市内外からは、開催を待ちわびたスキーヤー370人が参加し、心地よい汗を流していました。

恵庭市を代表する冬のイベントが盛大に開催でき、大会準備に関わった自衛隊の皆さんをはじめ、多くの方々に心から感謝いたします。

えにわ応援商品券  
2025について

次に、えにわ応援商品券2025について申し上げます。

物価高騰の影響を受けている全ての市民に対する支援を目的として、「えにわ応援商品券2025」事業を実施しております。

商品券の2次配布分として、この度昨年9月1日から12月31日までの間に出生及び転入された方を対象に商品券を発送したところがあります。

引き続き、使用期限の周知等、利用促進に向けた取組を行って参ります。

冬のイベントにつ  
いて

最後に、冬のイベントについて申し上げます。

2月5日から8日まで、市内各所において「2026えにわシーニックナイト」が開催されました。本イベントは20周年を迎え、アイスキャンドルやスノーランタンで幻想的な冬の夜を演出するものであり、7日には花の拠点はなふるを会場に、雪遊びやスノーランタン作り体験などが実施されました。

また、2月14日には、花の拠点はなふるにおいて「はなふるスノーフェスタ2026」が開催され、雪の大運動会やスノーアート、雪のスライダーなど、冬のアクティビティを通じて、冬のはなふるを楽しんでいただきました。

冬期間におきましても、イベントなどを通して、多くのにぎわいと地域活力の醸成につながるよう、大いに盛り上げて参りたいと考えております。

以上、第4回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

なお、本議会に提案している議案等については、それぞれ上程の都度説明させていただきますので、よろしくご審議をいただき、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。